



新年のごあいさつ

担当常任理事 佐々木 達



新年おめでとうございます。

先生方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

広島市医師会をはじめ安佐、安芸地区、大竹市、佐伯地区、山県郡の各医師会の会員の先生方には日頃の御愛顧ならびに御指導に感謝し、厚く御礼を申し上げます。

当検査センターでは一昨年の7月、新型コロナウイルス PCR 検査を所内導入しました。当初は医療機関からの検体を中心に1日400件上限としておりましたが、昨年春には広島県が随時集中実施する流川モニタリングなど無症状者の唾液 PCR 検査の検体を受け入れるべくプール方式の検査を導入し、その後検査機器の追加設置などにより現在では1日1,100件の検査受託が可能となっております。この稿執筆の時点で県内の新規感染者数は1日ゼロ～数人が続いています。新たな変異株「オミクロン株」への対応として検査態勢の更なる整備が望まれます。

手前味噌になりますが、これまで経験した数回にわたる患者急増時での検査センター職員の頑張りには頭が下がる思いです。技能取得や超過勤務を必要とした臨床検査技師たちのみならず、検体集荷から結果報告まで営業職、システム管理職、総務経理事務職等々、まさに総力を動員し業務を完遂することができました。結果として得られた収益の一部をもとに、昨年11月にはご利用医療機関からの希望者約14,000人を対象に「医療従事者における新型コロナウイルスワクチン接種後の抗体検査」を実施しました。測定結果を感染防止対策にお役立ていただければ幸いです。

今後の中長期的な業務継続や収支改善など経営的課題にあたっては、検査工程の自動化、結果の自動配信、集配業務管理や在庫管理システムの導入などを推進していく計画です。引き続き先生方に「いちばん身近な検査室」としてご利用いただけるようサービスの向上に取り組んでまいります。

最後になりましたが、先生方の益々の御健勝、御発展を祈念し新年の御挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ、宜しくお願い申し上げます。